



ロータリーを高めよ
思いを尽くし 热意を尽くし

HONOR ROTARY
WITH FAITH AND ENTHUSIASM



●次回卓話予定者

ポリオ・プラス月間
会員増強拡大月間

1991.3.8. (金) 第165回例会

本日のプログラム

1. 点鐘
2. ロータリーソング「高めよロータリー」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 会員卓話
9. 点鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-02 佐土原町大字下田島9883番地1
TEL 0985-73-0015

会長 佐野 保

副会長 神宮寺 利夫

幹事 鈴木 正敏

会計 浜田 松太郎

会報責任者 垂水 敏雄

第164回例会記録

(平成3. 3. 1)

会長より 佐野保
昨年8月2日、イラク軍のクウェート侵攻に始まり、遂に本年1月17日多国籍軍とイラク軍の開戦に突入した湾岸戦争は、幸いにも長期化せず、2月28日午前零時(日本時間午後2時)停戦となりました。しかし、この戦によって10万人を超える人々が死傷し、国土は崩壊し、自然環境の汚染による被害は想像を絶するものがあります。なぜ人間は平和的手段で問題を解決しようとしているのでしょうか。

もう二度と世界に戦争を起こさせてはならない、私たちロータリアンの平和への願いの輪を大きく世界中に広げなければいけない、と考える次第です。

今林ガバナーより、湾岸戦争難民救済基金として会員1人2,000円の拠出を4月25日までにお願いしたい、との要請がありました。

世界の珍税のなかに「ローマ人の小便税」というのがあります。

ローマ帝国の皇帝であったカリグラは、ありとあらゆるものを見税の対象にした、として知られています。彼の皇帝時代には「税が課されない人や物は何も存在しなかった」とまでいわれています。例えば、裁判にまで課税され、係争している金額の2.5%が税金として徴収されたのです。

後に登場した皇帝ヴェスパシアヌスは、なんと「小便税」を考えつきました。ローマ人は白い色のトーガと呼ばれる長い着衣を好んでいましたが、このトーガを洗濯業者が漂白するのに尿が用いられていましたからです。もっとも、あらゆる小便にまで税金をかけたわけではなく、公衆トイレのオシッコにだけ税が課せられました。

遺跡に残された古代ローマの公衆トイレは、ベンチ状の腰掛けに一人分ずつ穴があいていました。隣の人と小便税の不満をいいながら用を

足していたのかも知れません。ところで、今日でもフランスでは、公衆トイレのことをヴェスパシアヌス帝にちなんで、「ヴェスマジエン」と呼んでいます。

幹事報告

鈴木正敏

- 1.日向中央RCから、3月6日の例会は午後6時30分より「はまぐり荘」で開催するとの変更通知がありました。
- 2.広島RC会員「熊平 雄氏」から、「抜萃のつづりその五十号」のご寄贈がありましたので、皆さんにお配りしました。

親睦小委員会より 委員長 斎藤数馬

3月セレモニーは、次の方々に会長から記念品を贈呈して祝福申し上げます。

※誕生日祝いを受けられる会員

山脇忍会員・神宮寺利夫会員

※結婚記念日祝いを受けられる会員

井上満男会員

◎上記3名の方から多額のハッピーをいただきましたので、ご報告とともに心からお礼を申し上げます。

◆2月受祝者のハツビー・ボイス

(追記)

すでに55歳の馬齢を数えたことになります。しかし、過去はかえりませんので、即今只今(ソクコンタダイマ)に全力を尽くしたいと思います。今後ともよろしく御教導の程をもち願い申し上げます。 正岡文都

◆3月受祝者のハツビー・ボイス

どうも有難うございました。

不惑の年はとっくに過ぎましたが、未だ迷いがあります。尚学習が必要だと思っているこの頃です。 山脇忍

社会奉仕部
ボリオ
の見本が
1万円です
オ・プラ

ビジタ
宮崎士

○手続き要
34」の
意味が
数年前
ますが、

○この決
これが
なくして
かと、多
るので、
では、
見解で
たしま
①ロー
タリ
即ち、
他人
の間
その
こと
来る
ータ
うこ
②商工
クラ
邪魔
よう
即ち
に実
その

社会奉仕委員会より 委員長 児玉武文
ボリオ・プラス募金のためのテレホンカード
の見本がきています。台紙付きで10枚1組が
1万円です。1枚で通話度数は500円、ボリ
オ・プラスへ300円寄付することになります。

ビジター特別卓話

宮崎北RC 岡本英敬氏

○手続き要覧の第6章「社会奉仕の決議23-34」の本文を吟味しますと、大変味のある意味が数多く含まれているようです。
数年前に手続き要覧から一時消えたのであります、その後また復活したわけであります。

○この決議23-34は、日本人の感性として、これがロータリーの真髄であり、又この本文なくしてロータリーは存在しないのではないかと、多くの日本のロータリアンは考えているのではないかと思います。
では、どういう点かと申しますと、私なりの見解で整理してみて四つ程あるような気がいたします。
①ロータリーは一つの人生哲学であり、ロータリアンの奉仕哲学であるといわれます。即ち、自分だけの欲望を求めるのではなく、他人の欲望も尊重しなければならない、その間に感情的な矛盾が対立するけれども、その矛盾の幅を出来るだけ縮めようすることがロータリーであり、又その矛盾を出来るだけ無くするように努めることが、ロータリーの最終目標ではなかろうか、ということです。

②商工会議所のあるところでは、ロータリークラブは、商工会議所の行っている仕事を邪魔したり、横取りしたりすることのないようにしなければならない、とあります。即ち、私達のクラブ奉仕活動の中で、すでに実施されているもの又は企画中のもので、そのようなものはいかどうか検討してみ

る必要があるのではないかと思います。
もし実施しようすれば、重複を避けるために、現在ある機関に協力するかたちで行うことが望ましいということです。

③ロータリークラブでは、地域社会が求めようとするものを発掘してそれを育成し、徐々に行政機関及びその他の機関に譲るようにすることが望ましい、とあります。
即ち、ロータリーは、他の機関が行っていることをまねすることはあまり好ましくないということのようです。従ってロータリーの本来の目的ではないということでもあります。

④他の団体と協力して、当然ロータリークラブの功績が大きかったとしても、自分の方の力を最小限に評価して、そのすべての協力者の手柄にするようにしなければならない、とあります。

この点が日本のロータリアンの心を揺さぶるところであります。

○例えば、ロータリークラブとして一つのプロジェクトを立案し、実施した場合に、「これが幸いにも成功したときは、会長は、これは会員の方々の協力の成果であると考えるべきで、もし失敗したときは、会長の責任である」と考えることが望ましいということです。

○また、ビジネスの世界で例えて申しますならば、企業が順調に発展している場合は、「社員の協力と努力の成果である」と考えるべきで、もしうまく行かない場合は、「社長の責任である」と考えることが望ましいということであります。

以上がロータリアン的な考え方である、ということではなかろうかと思います。

従ってロータリアンはこのように実践するところが「人生として成功と幸福の真の基礎である」と決議23-34はいっているようです。

これを、ロータリークラブを通じて奉仕の倫

理と実践を学びなさい、ということです。



地球にやさしく・・・ 資源ゴミ回収運動

使い捨て時代を反省し、美しい自然を、よりよい未来を子どもたちに残すため、佐土原町婦人団体連絡会議（地域婦人会・商工会婦人部・農協婦人部・生活学校）では、次のように資源ゴミ回収を行うことになりました。

❀ ❀ ❀ ❀ ❀

★回収する資源ゴミ

- 空き缶（アルミ缶・スチール缶）
- 空きびん（一升びん・ビールびん・雑びん）
- 牛乳パック

★回収の方法

○佐土原中央公民館・那珂地区公民館・佐土原地区公民館にドラム缶を設置し、毎月7日に町婦団連会員が「空びん・空かん」を持寄り、分別して所定のドラム缶に入れる。（きれいに水洗いしたもの）
○牛乳パックは、佐土原中央公民館・サンリブマルショク・Aコーポ佐土原支店・サンゲリーンームけうじの所定の置場に持寄る。（牛乳パックはきれいに水洗いし、切開いて乾燥したもの）

○地域住民にも協力を呼びかける。

○空きびん・空きかんは毎月7日に業者が各公民館に回って搬出する。
牛乳パックは適量集ったときに関係工場から受領に来る。

佐土原RCとしても積極的に支援したいと、社会奉仕委員会で具体的な計画を検討中です。
会員各位のご家庭におかれましても、是非ともご協力をよ頼いたします。

島津日新公（忠良）伊呂波歌 より

「いにしへの道を開きても、唱へても
我が行にせずばかひなし」

・昔の聖賢の教義学問や人の道を耳に聞こうが、口に唱えようが、それを自分の身で行わなければ何の功もない。

「はかなくも 明日の命を頬むかな

今日も今日もと 学びをばせで」

・人間には毎日学び勉めるべきことがあるのに、今日は都合が悪いからとか理由をつけて明日に延ばし、明日が来るとまた明日に延ばす者がいる。いつまでも明日の日を頬みにしているが、人の命は明日まで必ずしもあるとは限らない。今日のことは今日に行え。

「善きあしき 人の上にて身を磨け

友はかがろと なるものぞかし」

・人は自分の行為の善悪を覚ることには鈍いものであるが、他人の行為の善悪はすぐに目につくものである。他人の自分より優れたところや善い点は、これを直ぐに学び、自分もそれ以上によくなろうと努力する。
また、他人の悪い行いなどを見たなら、自分は決してそのようなことはしないと身を慎む。日常友と交わる中で自分を磨く心掛けが大切である。

第164回例会 3月1日（金）

ビジタ一

宮崎北RC 岡本英敬氏

出席状況

会員数	17名
ホーム欠席者数	3名
ホーム出席者数	14名
ホーム出席率	82.35%
メールアップ者数	0名
欠席者名	郡司・井下・今村